

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14134

和歌山城公園管理事業（南別館）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	1	中心市街地の魅力向上
施策	1	中心市街地の魅力向上
取組方針	2	賑わいの創出

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	和歌山城公園管理費		
	大事業	和歌山城公園管理事業		
	中事業	和歌山城公園管理事業（南別館）		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	岡本 和也
事業実施の根拠法令			関連課	435-1044		

1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	環境の良い職場で効率よく職務に従事することにより、より一層市民サービスの向上につなげていく。また、南別館内にあるわかやま歴史館資料館では、歴史展示室などを見学することができ、和歌山城の歴史的な魅力を感じることができる。	南別館の維持管理に伴う経費				
事業内容		平成29年度 需用費等の維持管理経費の支出行為	平成30年度 施設の老朽化に伴う施設修繕や耐震改修などを含めた、庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。	平成31年度 庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。歴史展示室での和歌山城の歴史・和歌山市の偉人、先人に関する展示	令和02年度 庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。歴史展示室での和歌山城の歴史・和歌山市の偉人、先人に関する展示	令和03年度 庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。歴史展示室での和歌山城の歴史・和歌山市の偉人、先人に関する展示

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	10,231	4,810	9,516	8,223	9,243	8,411	9,109	0	9,109	0
伸び率（%）	0%	0%	△7%	71%	△2.9%	2.3%	△1.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,062	5,982	5,994	6,074	6,122	5,960	0	5,960	0
	正規職員以外	3,801	3,756	3,885	3,885	3,850	8,676	10,839	0	10,839
	小計	9,863	9,738	9,879	9,959	9,972	14,636	16,799	0	16,799
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,023	406	5,017	358	5,012	407	5,013	0	5,013	0
一般財源（税等）	5,208	4,404	4,499	7,865	4,231	8,004	4,096	0	4,096	0
所要人数 （人）	正規職員	0.76	0.75	0.75	0.76	0.74	0.74	0.00	0.74	0.00
	正規職員以外	1.95	1.93	1.95	1.95	1.95	3.87	3.72	0.00	3.72
主な予算内訳	光熱水費（3,905千円）・管理委託料（3,217千円）									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
旧南別館修繕件数		件	目標値					
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
南別館耐震改修工事進捗率		%	目標値					
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和元年度には、人員配置の適正化を行い、非常勤職員1名を削減してコスト低減を行った。
見直し・改善内容	歴史展示室では、年間3回の企画展を開催するなど、展示内容の充実をはかっている。